

RECARO FORMEL 3 CUP (ドイツF3) Round 1&2 in Oschersleben

第1戦 予選 レポート

4月 22日 (土)



結果 10番手

昨日の穏やかな小春日和とは打って変わって、雨模様となった第1戦の公式予選は、予定通り8:35から開始された。開始直前までは雨足も弱まり、殆ど降ってきていない状況で、後半には乾いてくるのではないかと思わせるような天候であったが、開始とともに再び大き目の雨粒が路面を完全なウェットコンディションへと変えていった。開始直前に山のある中古タイヤより新品タイヤのメリットの方が大きいと判断したチームは、時間ギリギリではあったがレインタイヤの組み換えを決断した。ハンコックタイヤサービススタッフの素早い作業が助けとなり、約1周のロスのみでコースインし、初めてのF3でのウェットコンディションの下、初めてのF3の予選アタックを開始した。

しかし、色々な悪条件を体験済みの松村選手からは、初体験とか初チャレンジとかという余計なプレッシャーを一切感じることはなかった。そして迎えた最初の計測ラップで、松村は早速ミスをしてしまい、コース上でスピンを喫してしまった。全く温まっていなかったタイヤは、雨足の強くなってきた路面にマシンを留めておくことができなかった。そのスピんでラッキーとアンラッキーの両方が松村選手に起きた。ラッキーなこととは、コースオフすることなく、再スタートができたこと。そしてアンラッキーなこととは、スピンの際、マシンが逆向きになったとたん、ボンネットが宙に舞ってしまったことである。ボンネットを失った松村選手はピットインを余儀なくされてしまった。ピットに戻った松村選手のマシンにメカニックは必死のテーピング作業を施し、5分程のロスでボンネットなしのまま松村をコースへと送り出した。その後、松村選手は再びスピンというミスをすることなく、順調に周回を重ねながら、初めてのウェットコンディションの経験を積んでいった。その松村選手のラップタイムは周回を追うごとにタイムアップしていき、一時は6番手のポジションをタイミングモニター上に刻んだ。このままのペースで行けば十分にフロントローも狙えるといった内容であったが、終盤には遅い車両に行く手を阻まれたり、コース上の随所でトラブル車両によるイエローフラッグが提示されるなどし、結局1分44秒766のタイムで7番手となり、午後の開幕戦の決勝レースを4列目からスタートすることとなった。

一つ前のポジションにつけたチームメイトのSCHRAML選手とのタイム差は僅か0.08秒であった。もう一人のチームメイトであるTHOMAZ選手は、1周目に喫したスピンの再スタート時にバッテリートラブルで再始動することができず、何とか後半復帰したものの21番手にとどまった。

結局ポールポジションを獲得したのはNo.25のダラーラF306 / オペルを駆るHULKENBERG選手で、タイムは1分42秒451と1人42秒台のタイムを叩き出した。

松村選手は、自分で犯したスピンにより余計なボンネットトラブルを発生させてしまい、結果的に3周程のロス、タイヤが温まるまでの時間を人より多く費やしてしまったのが、ポールポジションを獲得できなかった大きな理由となった。しかし、チームスタッフからは、「全くの初めて尽くしの状況の中で、4列目からのスタートとなったことは、大変素晴らしいことだと思う。ベリーグッドジョブ！」と果敢な走りを称えられていた。現時点で雨は止んでいるが、未だ上空にはどんよりとした雲が立ち込めており、ウェットかドライか開幕戦のコンディションは全く予想が付かない状況である。決勝レースは現地時間の15:25から25分間に渡って行われる。

ところが、残念なことにグリッド表が発表になった時点で、松村選手のポジションが10番手に。理由は、最終ラップに出したベストラップがイエローフラッグの提示中だったため。タイムはそのまま、3つ降格となった。松村選手以外にも数人が同じペナルティーの対象となった。

< 予選後のドライバーコメント >

まだまだ踏んで行けるところはたくさんあったので、タイム的には十分に前を狙っていける状況でしたが、かなり滑りやすい状況でもあり、ワンミスでフロントモリヤも滑り出してしまうようで、結構慎重に行きました。予選終盤にはアンダーステアがきつくなってきて、クリップにつくのが難しかったです。決勝はウェットかドライかわかりませんが、どちらでも勉強のつもりで最後までキッチリ走りきって、結果に繋がりたいと思います。応援宜しくお願いします！

QUALIFY 1

出走 30台

POS	No.	DRIVER	NAT.	TIME
1	25	Nico HULKENBERG	GER	01:42.451
2	6	Ho-Pin TUNG	CHN	01:43.605
3	27	Riccardo AZZOLI	ITA	01:44.001
4	10	Dominik SCHRAML	GER	01:44.687
5	28	Salvatore GATTO	ITA	01:45.377
6	16	Recardo BRUINS	KOR	01:45.765
7	17	Dominick MUERMANS	NED	01:44.422
8	8	Renger Van Der ZANDE	NED	01:44.651
9	31	Christer JONS	GER	01:45.892
10	11	Hiroyuki MATSUMURA	JPN	01:44.766

関連 Web Site

レーシングドライバー 松村浩之

<http://www.hiro-matsumura.com/>

Deutsche Formel 3 Vereinigung

<http://www.formel3.com/>

SWISS RACING TEAM

<http://www.swissracingteam.ch/>

